FTD、ISE、DUO、およびActive Directoryを介したSSL VPN認証の設定

内容

はじめに

要件

使用するコンポーネント

ネットワーク図

<u>コンフィギュレーション</u>

FTD設定。

<u>Firepower Management Center(FMC)内でのRADIUSサーバの統合</u>

<u>リモートVPNを設定します。</u>

ISE設定。

<u>DUOを外部RADIUSサーバーとして統合します。</u>

FTDをネットワークアクセスデバイスとして統合します。

DUO構成。

<u>DUOプロキシインストール。</u>

DUOプロキシをISEおよびDUOクラウドと統合します。

DUOをActive Directoryと統合します。

<u>DUO Cloud経由でActive Directory(AD)からユーザーアカウントをエクスポートします。</u>

<u>Cisco DUO Cloudにユーザを登録します。</u>

設定検証手順。

一般的な問題.

正常動作シナリオ.

Error11353外部RADIUSサーバはなし。フェールオーバーを実行できない

RADIUSセッションはISEライブログに表示されません。

その他のトラブルシューティング.

はじめに

このドキュメントでは、Cisco ISEとAAA用のDUOセキュリティを使用したFirepower Threat DefenseでのSSLVPNの統合について説明します。

要件

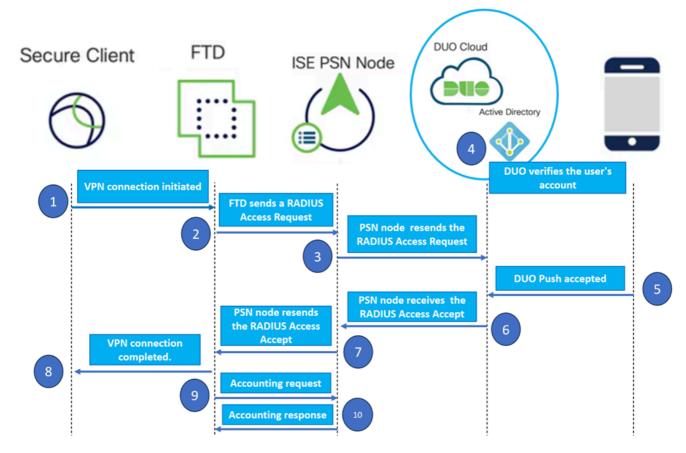
- ISE 3.0以降。
- FMC 7.0以降。
- FTD 7.0以降。
- DUO認証プロキシ。
- ISE Essentialsライセンス
- DUO Essentialsライセンス。

使用するコンポーネント

- ISE 3.2 パッチ 3
- FMC 7.2.5
- FTD7.2.5
- プロキシDUO 6.3.0
- Any Connect 4.10.08029

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

ネットワーク図



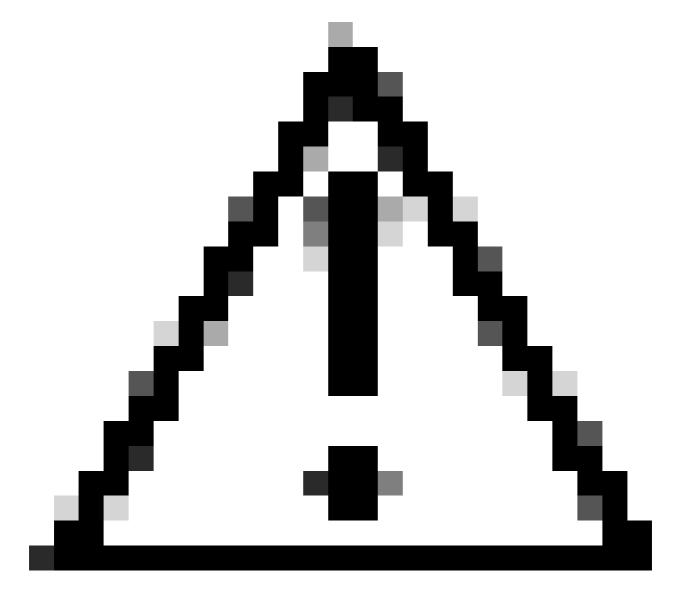
[Topology]:

提案するソリューションでは、Cisco ISEは重要なRADIUSサーバプロキシです。認証ポリシーまたは認可ポリシーを直接評価するのではなく、RADIUSパケットをFTDからDUO認証プロキシに転送するようにISEを設定します。

DUO認証プロキシは、この認証フロー内で専用の仲介者として動作します。 Windowsサーバにインストールすることで、Cisco ISEとDUOsクラウド間のギャップを埋めます。プロキシの主な機能は、RADIUSパケット内にカプセル化された認証要求をDUOクラウドに送信することです。 DUO Cloudは、2要素認証設定に基づいて最終的にネットワークアクセスを許可または拒否しま

す。

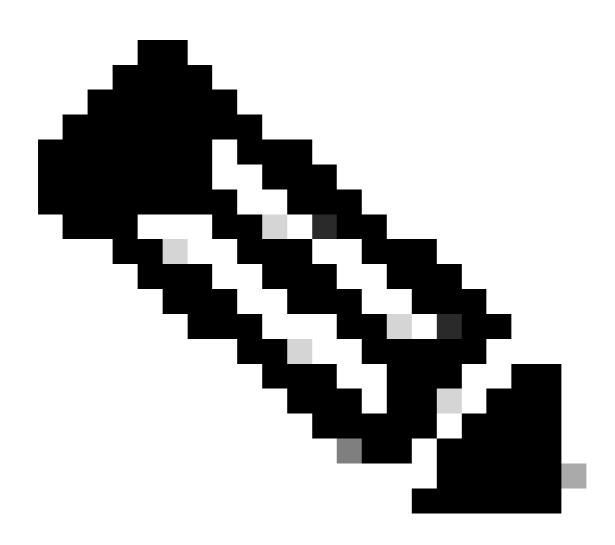
- 1. ユーザは、一意のユーザ名とパスワードを入力してVPN認証プロセスを開始します。
- 2. ファイアウォール脅威対策(FTD)が、認証要求をCisco Identity Services Engine(ISE)に送信します。
- 3. Policy Services Node (PSN)は、認証要求をDUO認証プロキシサーバに転送します。その後、DUO認証サーバーはDUOクラウドサービスを介して資格情報を検証します。
- 4. DUO Cloudは、同期データベースに対してユーザー名とパスワードを検証します。



注意: DUOクラウドで最新のユーザーデータベースを維持するには、DUOクラウドと組織の Active Directory間の同期がアクティブになっている必要があります。

5. DUOクラウドは、認証に成功すると、セキュアで暗号化されたプッシュ通知を通じて、ユーザーが登録したモバイルデバイスへのDUOプッシュを開始します。ユーザーはDUOプッシュを承認して身元を確認し、続行する必要があります。

- 6. ユーザーがDUOプッシュを承認すると、DUO認証プロキシ・サーバーは、ユーザーが認証要求を受け入れたことを示す確認をPSNに送信します。
- 7. PSNノードは、ユーザが認証されたことを通知する確認をFTDに送信します。
- 8. FTDは認証確認を受信し、適切なセキュリティ対策が実施されているエンドポイントへの VPN接続を確立します。
- 9. FTDは、正常なVPN接続の詳細をログに記録し、記録と監査の目的でアカウンティングデータをISEノードに安全に送信します。
- 10. ISEノードは、アカウンティング情報を自身のライフログに記録し、すべてのレコードが安全に保存され、将来の監査またはコンプライアンスチェックのためにアクセスできることを確認します。



このガイドの設定では、次のネットワークパラメータを使用します。

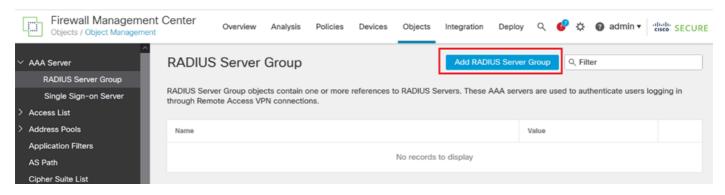
- プライマリネットワークサーバ(PNS)ノードIP:10.4.23.21
- ピアVPNのFirepower Threat Defense(FTD)IP:10.4.23.53
- DUO認証プロキシIP: 10.31.126.207
- ドメイン名: testlab.local

コンフィギュレーション

FTD設定。

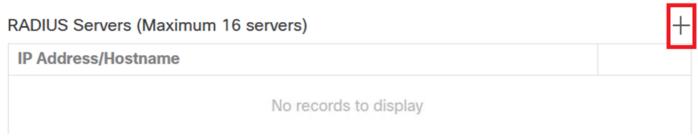
Firepower Management Center(FMC)内でのRADIUSサーバの統合

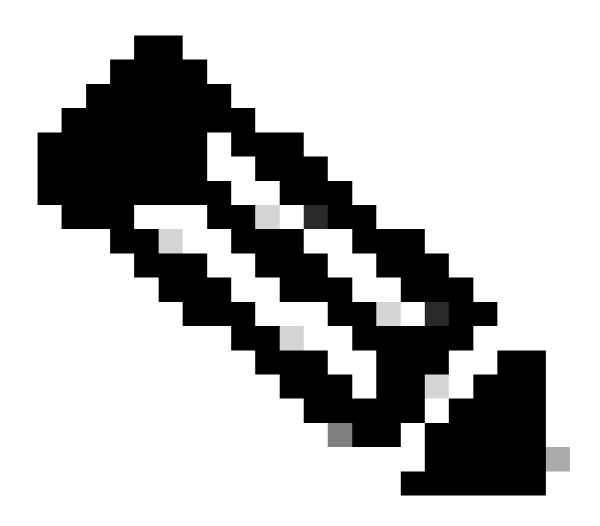
- 1. Webブラウザを起動し、FMCのIPアドレスを入力してグラフィカルユーザインターフェイス (GUI)を開き、FMCにアクセスします。
- 2. Objectsメニューに移動し、AAA Serverを選択してから、RADIUS Server Groupオプションに進みます。
- 3. Add RADIUS Server Groupボタンをクリックして、RADIUSサーバーの新しいグループを作成します。



RADIUSサーバグループ。

- 4. ネットワークインフラストラクチャ内で明確に識別できるように、新しいAAA RADIUSサーバグループの内容を表す名前を入力します。
- 5. グループ設定で適切なオプションを選択して、新しいRADIUSサーバの追加に進みます。



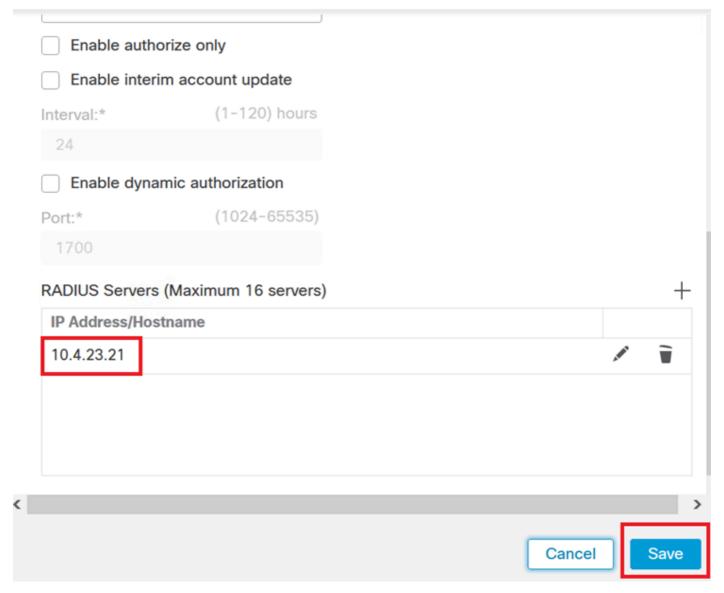


注:正常なRADIUS接続を確立するには、この秘密キーがISEサーバと安全に共有されるようにすることが不可欠です。

新しいRADIUSサーバ。

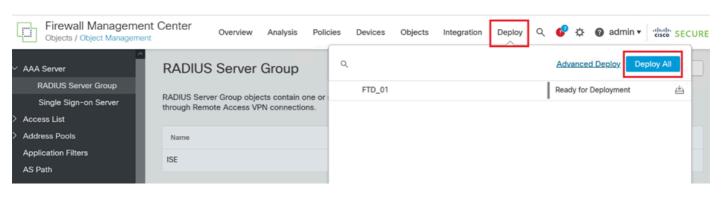
IP Address/Hostnar	ne:*			
10.4.23.21				
Configure DNS at Three	at Defense Platform S	ettings to resolve	hostname	
Authentication Port	* (1-65535)			
1812	_			
Key:*				
•••••				
Confirm Key:*				
•••••				
Accounting Port:	(1-65535)			
1813				
Timeout:	(1-300) Seconds			
10				
Connect using:				
● Routing ○ Spec	cific Interface 0			
			Cancel	Save

7. RADIUSサーバの詳細を設定した後、SaveをクリックしてRADIUSサーバグループの設定を保存します。



サーバグループの詳細。

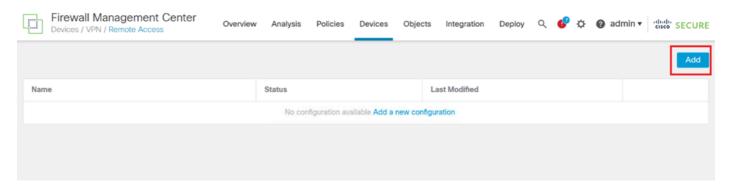
8. ネットワーク全体でAAAサーバの設定を完了して実装するには、Deployメニューに移動し、 Deploy Allを選択して設定を適用します。



AAAサーバの導入

リモートVPNを設定します。

- 1. FMC GUIでDevices > VPN > Remote Accessの順に移動し、VPN設定プロセスを開始します。
- 2. Addボタンをクリックして、新しいVPN接続プロファイルを作成します。



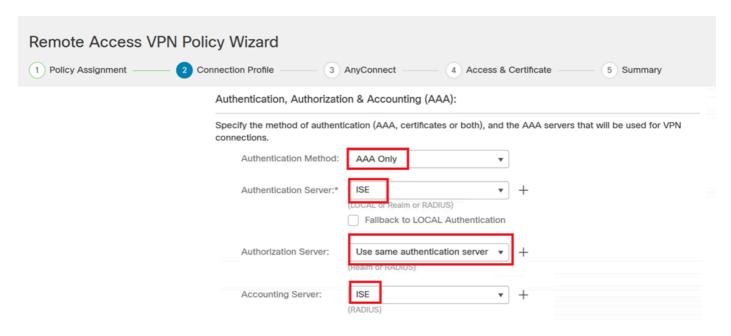
VPN接続プロファイル。

- 3. ネットワーク設定内でVPNを識別しやすくするために、VPNの一意で説明的な名前を入力します。
- 4. SSL VPNプロトコルを使用して安全な接続を確保するには、SSLオプションを選択します。
- 5. デバイスのリストから、特定のFTDデバイスを選択します。

Remote Access VPN Policy Wizard 1 Policy Assignment 2 Connection Profile 3 AnyConnect 4 Access & Certificate	e 5 Summary
Access VPN policy with a new user-defined connection profile. Name:* VPN_Remote Description:	elements to be in place to complete Remote Access VPN Policy. Authentication Server Configure LOCAL or Realm or RADIUS Server Group or SSO to authenticate VPN cilents. AnyConnect Client Package
VPN Protocols: ✓ SSL ☐ IPsec-IKEv2 Targeted Devices: Avallable Devices Selected Devices	Make sure you have AnyConnect package for VPN Client downloaded or you have the relevant Cisco credentials to download it during the wizard. Device Interface Interfaces should be already configured on targeted devices so that they can be used as a security zone or interface group to enable VPN access.
Q Search FTD_01	Cancel Back Next

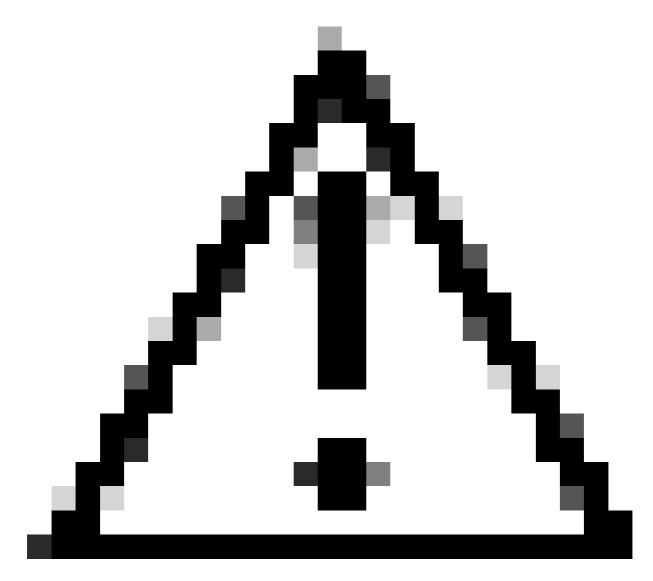
VPN設定。

6. 認証設定でPSNノードを使用するようにAAA方式を設定します。



接続プロファイル。

7. VPNの動的IPアドレス割り当てをセットアップします。



注意:たとえば、DHCP VPNプールが選択されています。

Client IP address Assignment: Client IP address can be assigned from AAA server, DHCP server and IP address pools. When multiple options are selected, IP address assignment is tried in the order of AAA server, DHCP server and IP address pool. Use AAA Server (Realm or RADIUS only) Use DHCP Servers Vuse IP Address Pools IPv4 Address Pools: Pool_VPN IPv6 Address Pools:

IPアドレスプール。

8. 新しいグループポリシーの作成に進みます。

Group Policy:

A group policy is a collection of user-oriented session attributes which are assigned to client when a VPN connection is established. Select or create a Group Policy object.

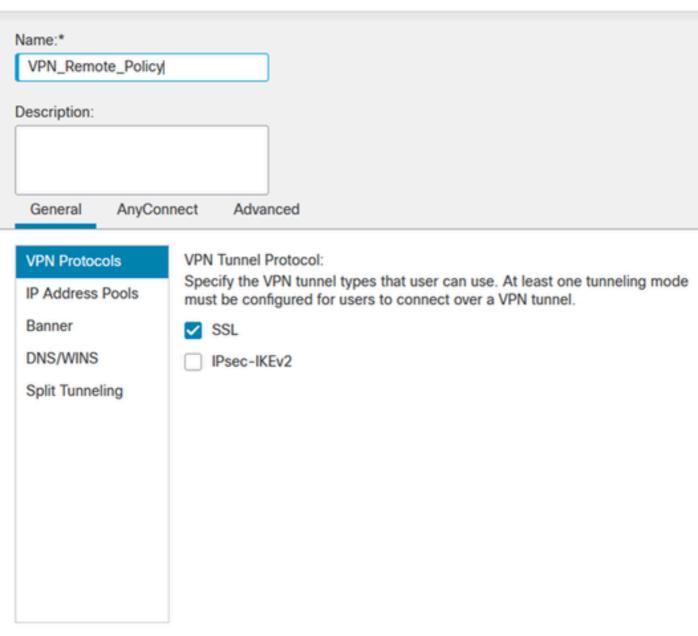


グループ ポリシー.

9. グループポリシー設定で、SSLプロトコルが選択されていることを確認します。

Add Group Policy





Cancel Save

VPNプロトコル.

10. 新しいVPNプールを作成するか、既存のプールを選択して、VPNクライアントで使用できる IPアドレスの範囲を定義します。

Add Group Policy



Name:*			
VPN_Remote_Policy			
Description:			
General AnyConr	nect Advanced		
VPN Protocols	IP Address Pools:		+
IP Address Pools	Name	IP Address Range	
Banner			
DNS/WINS			
Split Tunneling			

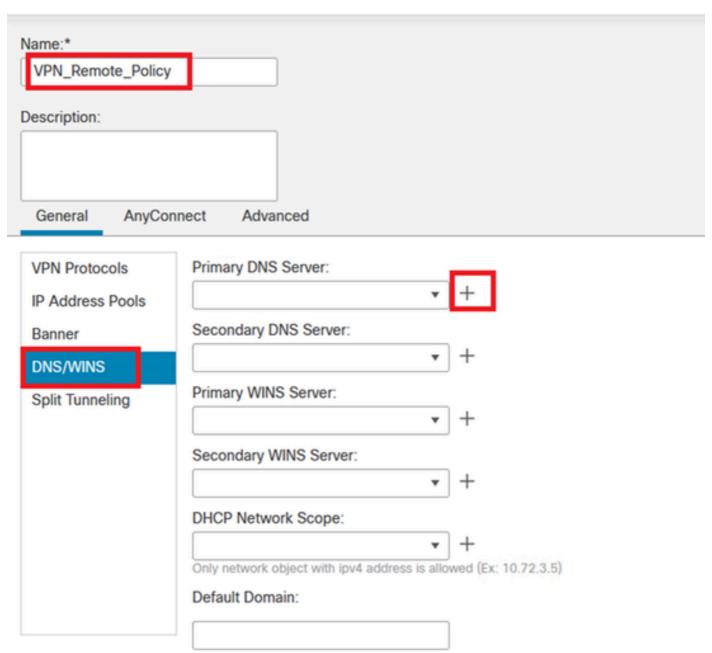
Cancel

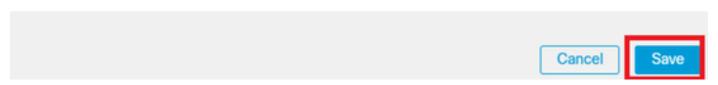
プールVPN。

11. VPN接続のDNSサーバーの詳細を指定します。

Add Group Policy





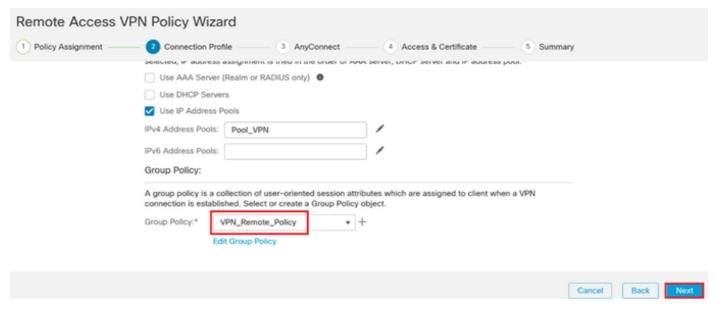


DNS設定。



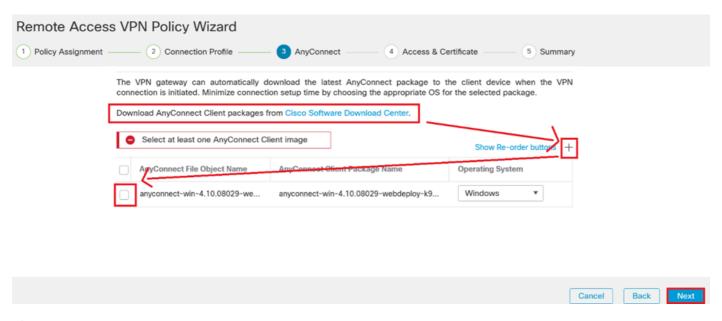
警告:この設定では、バナー、スプリットトンネリング、AnyConnect、拡張オプションなどの追加機能はオプションと見なされることに注意してください。

12. 必要な詳細を設定したら、Nextをクリックしてセットアップの次のフェーズに進みます。



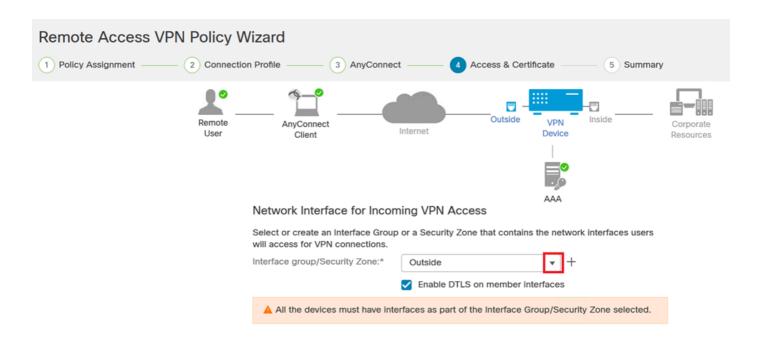
グループ ポリシー.

13. VPNユーザ用の適切なAnyConnectパッケージを選択します。必要なパッケージがリストされていない場合は、この段階で必要なパッケージを追加できます。



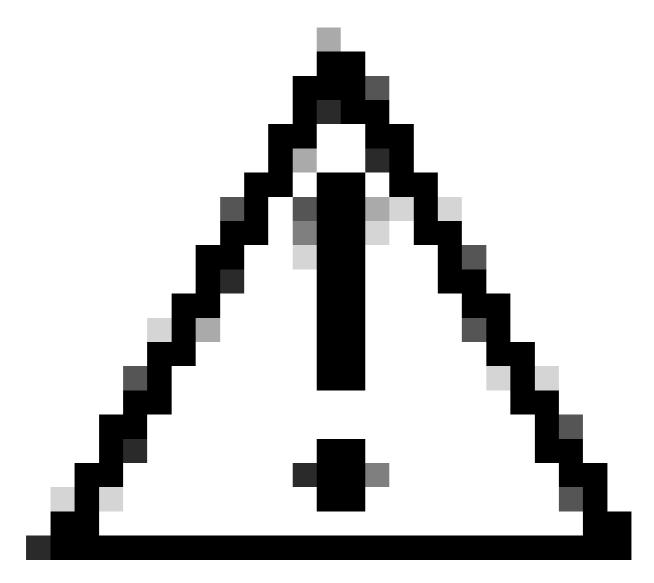
パッケージのインストール

14. VPNリモート機能を有効にするFTDデバイスのネットワークインターフェイスを選択します。



VPNインターフェイス

15. 使用可能な方法の1つを選択して証明書の登録プロセスを確立し、証明書を作成してファイアウォールにインストールします。これは、セキュアなVPN接続にとって重要です。



注意:たとえば、このガイドでは自己署名証明書が選択されています。

Device Certificates

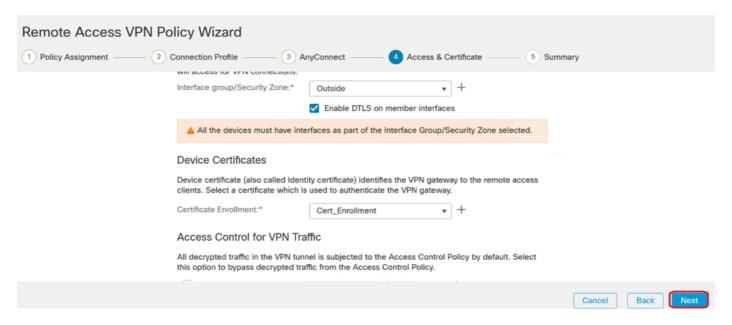
Device certificate (also called Identity certificate) identifies the VPN gateway to the remote access clients. Select a certificate which is used to authenticate the VPN gateway.

デバイス証明書。

Name*		
Description		
CA Information C	ertificate Parameters Key Revocation	
Enrollment Type:	SCEP ▼	
Enrollment URL:*	Self Signed Certificate EST	
Challenge Password:	SCEP	1
Confirm Password:	Manual	
Retry Period:	PKCS12 File	
Retry Count:	10 (Range 0-100)	
Fingerprint:		
	Cancel	

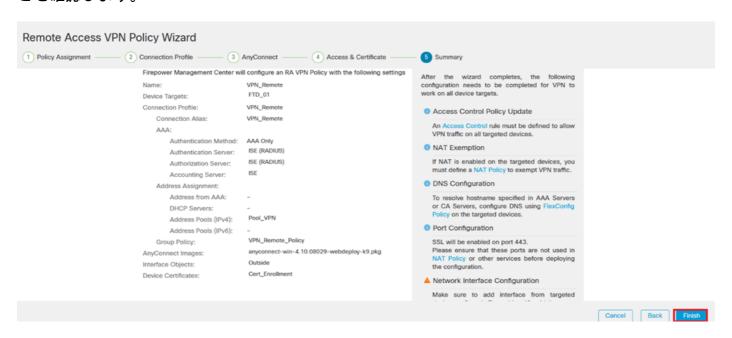
証明書登録。

16. 証明書の登録を設定したら、Nextをクリックします。



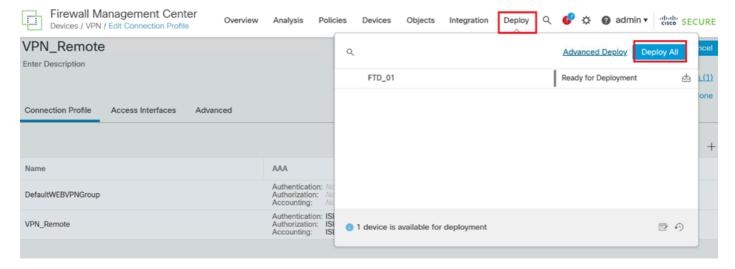
アクセスとサービスの概要

17. すべての設定の概要をレビューして、設定が正確であり、意図した設定が反映されていることを確認します。



VPN設定の概要。

18. VPNリモートアクセス設定を適用してアクティブにするには、Deploy > Deploy Allの順に移動し、選択したFTDデバイスへの展開を実行します。



VPN設定を展開しています。

ISE設定。

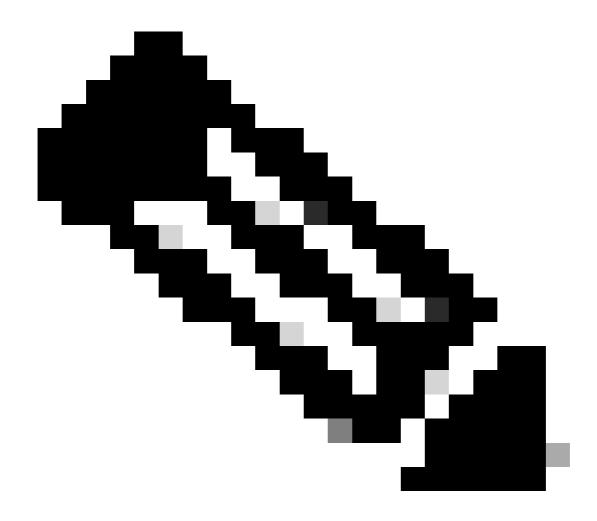
DUOを外部RADIUSサーバーとして統合します。

- 1. Cisco ISE管理インターフェイスで、Administration > Network Resources > External RADIUS Serversの順に移動します。
- 2. Addボタンをクリックして、新しい外部RADIUSサーバーを構成します。



外部Radiusサーバ

- 3. プロキシDUOサーバーの名前を入力します。
- 4. Proxy DUOサーバの正しいIPアドレスを入力して、ISEとDUOサーバ間の通信が適切であることを確認します。
- 5. 共有秘密キーを設定します。



注:RADIUS接続を正常に確立するには、この共有秘密キーをプロキシDUOサーバに設定する必要があります。

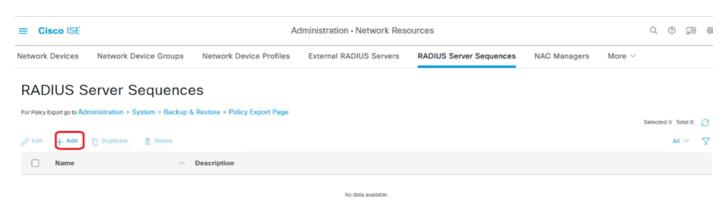
6. すべての詳細を正しく入力したら、Submitをクリックして、新しいProxy DUO Server設定を保存します。

=	Cisco ISE	Administration - Network Resources				Q	0	9	፨		
Net	work Devices	Network Device Groups	Network Device Profiles	External RADIUS Servers	RADIUS Server Sequences	NAC Managers	More ~				
Ex	ternal RADIUS	Server									
	Name	DUO_Server]								
De	escription			li							
	Host IP	10.31.126.20	7								
	Shared Secret	**********	Show								

外部RADIUSサーバ

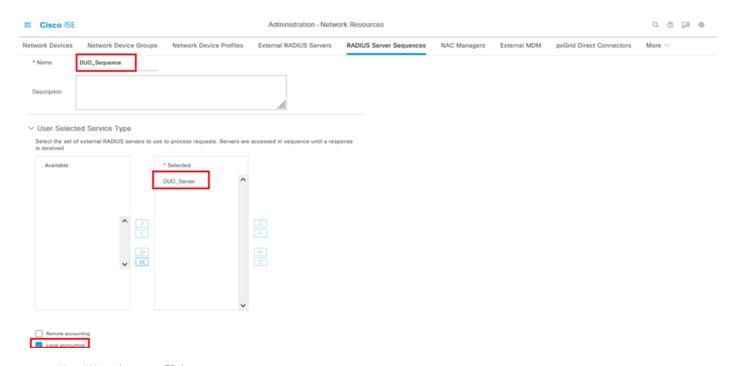
7. Administration > RADIUS Server Sequencesの順に進みます。

8. Addをクリックして、新しいRADIUSサーバーシーケンスを作成します。



RADIUSサーバシーケンス

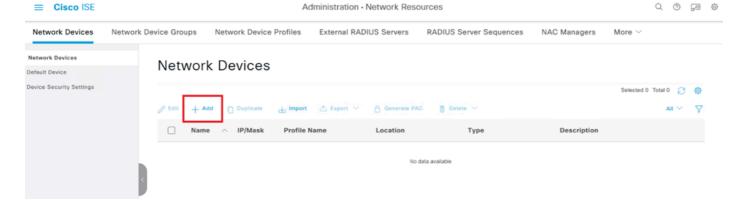
- 9. RADIUSサーバーシーケンスを識別しやすくするために、別の名前を指定します。
- 10. このガイドではDUO_Serverと呼ばれている、以前設定したDUO RADIUSサーバを探し、それを右側の選択済みリストに移動してシーケンスに含めます。
- 11. Submitをクリックして、RADIUSサーバシーケンスの設定を完了して保存します。



Radiusサーバシーケンスの設定。

FTDをネットワークアクセスデバイスとして統合します。

- 1. システムインターフェイスのAdministrationセクションに移動し、そこからNetwork Resourcesを選択してネットワークデバイスの設定領域にアクセスします。
- 2. [Network Resources]セクションで、[Add]ボタンを探してクリックし、新しいネットワークアクセスデバイスを追加するプロセスを開始します。



ネットワークアクセスデバイス。

- 3. 表示されたフィールドに、ネットワーク内のデバイスを識別するためのネットワークアクセス デバイス名を入力します。
- 4. FTD(Firepower Threat Defense)デバイスのIPアドレスの指定に進みます。
- 5. FMC(Firepower Management Center)のセットアップ中に以前に確立されたキーを入力します。このキーは、デバイス間のセキュアな通信に不可欠です。
- 6. 「発行」ボタンをクリックして、プロセスを完了します。

Network Devices List > FTD

Network Devices

Name	FTD			
Description				
IP Address	∨ * IP :	10.4.23.53	/ 32	♦

NADとしてFTDを追加します。



RADIUS UDP Settings

Protocol	RADIUS			
Shared Secret	••••••	•	Show	
Use Second S	hared Secret	0		
Secon Secret	d Shared			Show
Cox	A Port 170	00	Set To	Default

RADIUS設定

DUO構成。

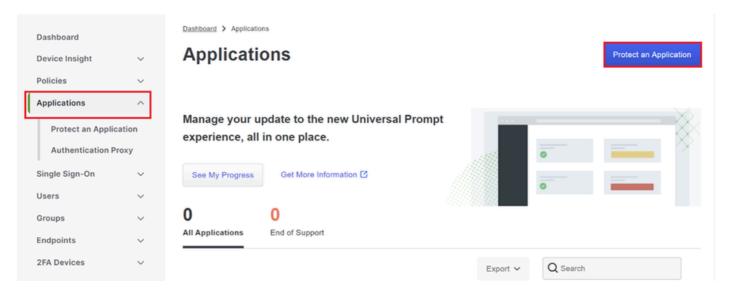
DUOプロキシインストール。

次のリンクをクリックして、『DUO Proxy Download and Installation Guide』にアクセスします。

https://duo.com/docs/authproxy-reference

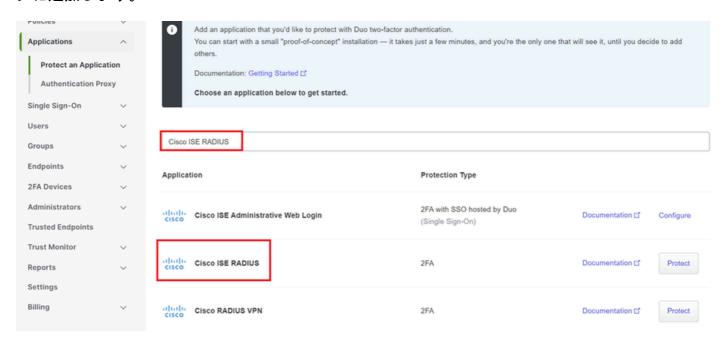
DUOプロキシをISEおよびDUOクラウドと統合します。

- 1. DUO Security Webサイト(https://duo.com/)にログインします。
- 2. 「アプリケーション」セクションにナビゲートし、「アプリケーションの保護」を選択して続行します。



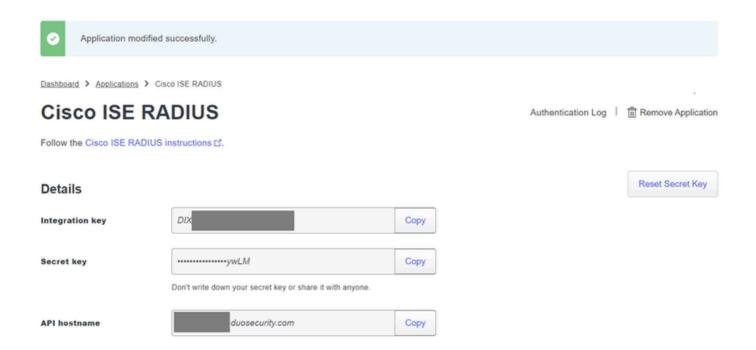
DUOアプリケーション

3. リストで「Cisco ISE RADIUS」オプションを検索し、Protectをクリックしてアプリケーションに追加します。



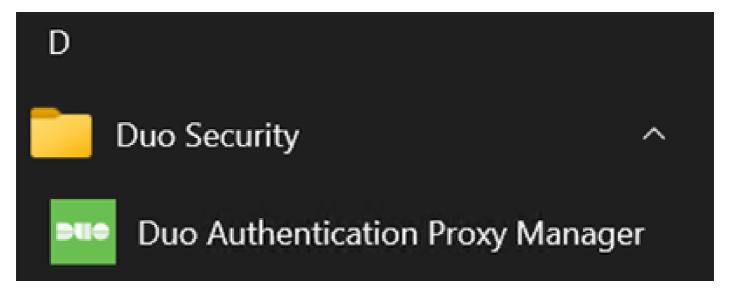
*ISE RADIUS*オプション

- 4. 正常に追加されると、DUOアプリケーションの詳細が表示されます。下にスクロールして Saveをクリックします。
- 5. 提供された統合キー、秘密キー、およびAPIホスト名をコピーします。これらは今後の手順で重要です。



ISEサーバの詳細

6. システムのDUO Proxy Managerを起動して、セットアップを続行します。

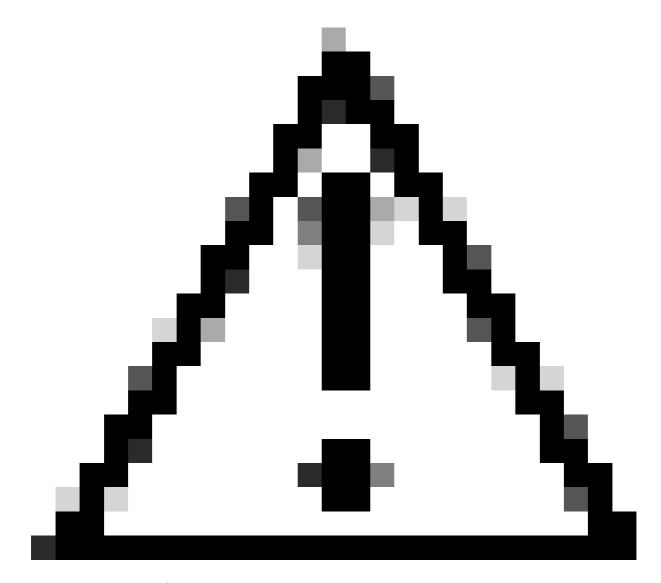


DUOプロキシマネージャ

7. (オプション) DUOプロキシサーバーがDUOクラウドに接続するためにプロキシ構成を必要とする場合は、次のパラメーターを入力します:

[main]

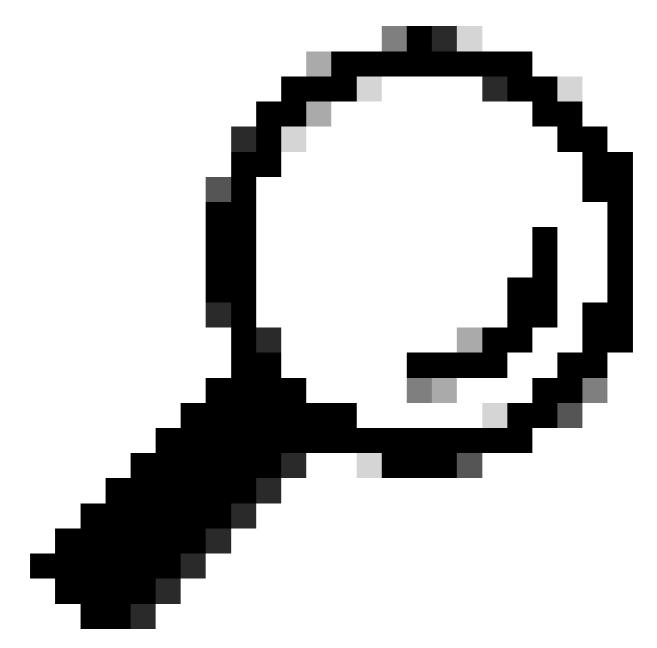
http_proxy_host=<Proxy IP Address or FQDN >
http_proxy_port=<port>



注意とを実際のプロキシの詳細に置き換えてください。

8. ここで、前にコピーした情報を利用して、統合設定を完了します。

[radius_server_auto]
ikey=<integration key>
skey=<secret key>
api_host=<API hostname>
radius_ip_1=<ISE IP address>
radius_secret_1=<secret key configured in the external RADIUS server section>
failmode=safe
port=1812
client=ad_client



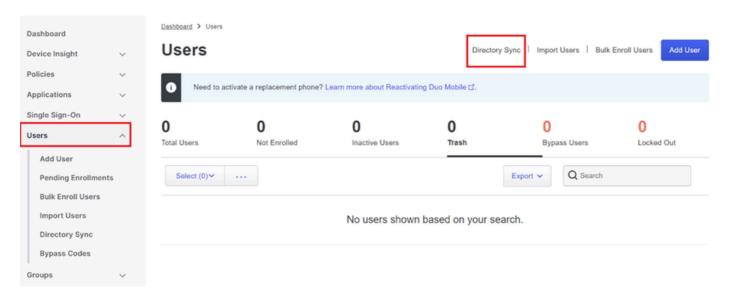
ヒント: client=ad_clientという行は、DUOプロキシがActive Directoryアカウントを使用して認証することを示しています。Active Directoryとの同期を完了するには、この情報が正しいことを確認します。

DUOをActive Directoryと統合します。

1. DUO認証プロキシをActive Directoryと統合します。

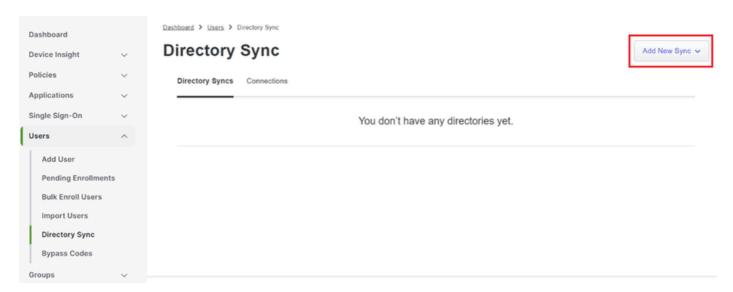
[ad_client]
host=<AD IP Address>
service_account_username=<service_account_username>
service_account_password=<service_account_password>
search_dn=DC=<domain>,DC=<TLD>

- 2. Active DirectoryにDUOクラウドサービスで参加します。https://duo.com/にログインします。
- 3. 「Users」に移動し、「Directory Sync」を選択して同期設定を管理します。



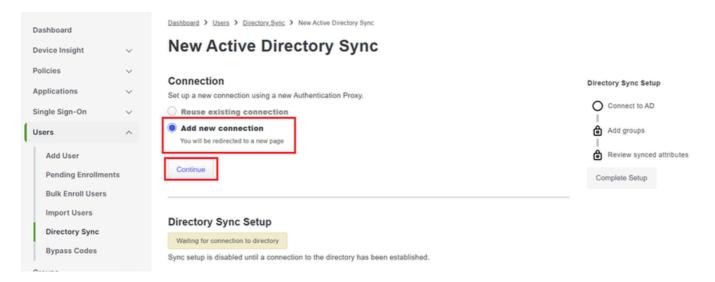
ディレクトリ同期

4. [Add New Sync]をクリックし、表示されたオプションから[Active Directory]を選択します。



新しい同期の追加

5. Add new connectionを選択し、Continueをクリックします。



新しいActive Directoryの追加

6. 生成された統合キー、秘密キー、およびAPIホスト名をコピーします。

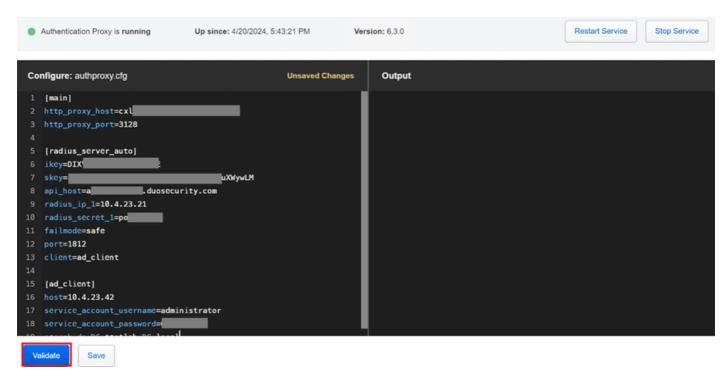
Authentication Proxy			பி Delete Connection	No Changes
	eu need to install the Duo Authentication Proxy software	o on a machine that Duo can	Status Not connected Add Authentication	on Proxy
2. Configure your Authentica configuration, or [±] downl	tion Proxy. Update the ikey, skey, and api_host entrioad a pre-configured file.	es in the [cloud] section of your	Configure Directo	ry
Integration key	DIDI	Сору	Connected Directo	ry Syncs
Secret key	wfPF	Сору	User Syncs AD Sync	
	Don't write down your secret key or share it with anyone. Reset Secret Key			
API hostname	duosecurity.com	Сору		
,	plain authentication, update the [cloud] section of you P account that has read access for your LDAP director			

認証プロキシの詳細

7. DUO認証プロキシ構成に戻り、取得した新しいパラメータとActive Directory管理者のサービスアカウント資格情報を使用して[cloud]セクションを構成します。

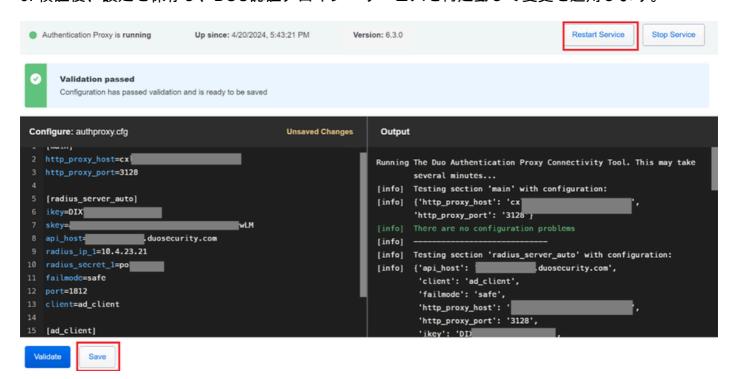
[cloud]
ikey=<integration key>
skey=<secret key>
api_host=<API hostname>
service_account_username=<your domain>\<service_account_username>
service_account_password=<service_account_password>

8. 「validate」オプションを選択して構成を検証し、すべての設定が正しいことを確認します。



プロキシDUOの設定。

9. 検証後、設定を保存し、DUO認証プロキシ・サービスを再起動して変更を適用します。



Restart Serviceオプション

10. DUO管理ダッシュボードに戻り、Active DirectoryサーバーのIPアドレスとユーザー同期用のベースDNを入力します。

Directory Configuration

Hostname or IP address (1) * Port (1) * 10.4.23.42 389 + Add Domain controller The port is typically 389 for cleartext LDAP or STARTTLS, and 636 for LDAPS. Base DN * DC=testlab,DC=local Enter the full distinguished name (DN) of the directory location to search for users and groups. We recommend setting this to the directory root (example: DC=domain,DC=local). If specifying the DN of an OU or container, ensure it is above both the users and groups to sync.

ディレクトリ設定。

11. システムを非NTLMv2認証に設定するには、Plainオプションを選択します。

Authentication type

Integrated

Performs Windows authentication from a domain-joined system.

NTLMv2

Performs Windows NTLMv2 authentication.

Plain

Performs username-password authentication.

認証タイプ.

12. 新しい設定を保存して、設定が更新されていることを確認します。

பி Delete Connection

Status

Not connected

Add Authentication Proxy

O Configure Directory

Connected Directory Syncs

User Syncs

AD Sync

Saveオプション

13. 「接続のテスト」機能を使用して、DUOクラウドサービスがActive Directoryと通信できるこ

とを確認します。

Authentication Proxy

_

- 1. To set up this directory, you need to install the Duo Authentication Proxy software on a machine that Duo can connect to and that can connect to your LDAP server. View instructions [2]
- 2. Configure your Authentication Proxy. Update the ikey, skey, and api_host entries in the [cloud] section of your configuration, or download a pre-configured file.



3. If you are using NTLM or plain authentication, update the [cloud] section of your configuration with the username and password for the LDAP account that has read access for your LDAP directory.

service_account_username=myusername
service_account_password=mypassword

4. Restart your Authentication Proxy.

5. Test Connection.

接続オプションをテストします。

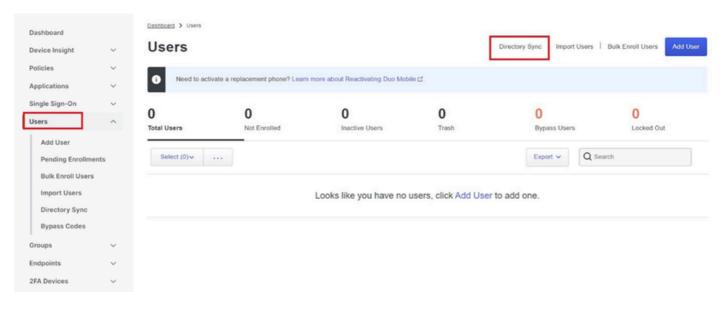
14. Active Directoryのステータスが、統合の成功を示す「Connected」と表示されていることを確認します。

Status

Connected

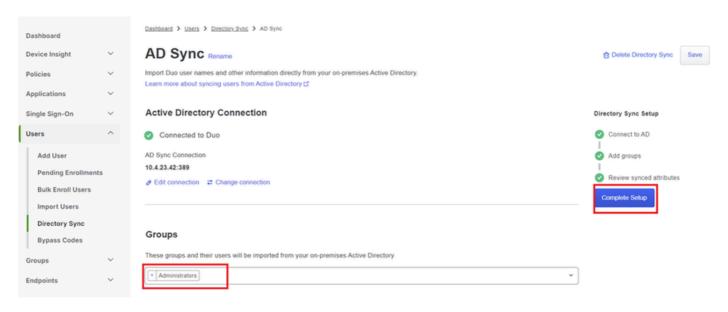
DUO Cloud経由でActive Directory(AD)からユーザーアカウントをエクスポートします。

1. Duo Admin PanelでUsers > Directory Syncの順に移動し、Active Directoryとのディレクトリ同期に関連する設定を見つけます。



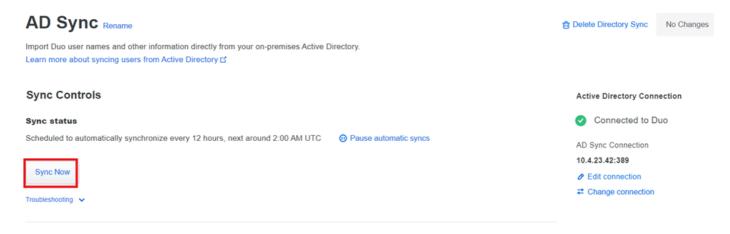
ユーザリスト。

- 2. 管理するActive Directory構成を選択します。
- 3. 構成設定で、Duo Cloudと同期する特定のグループをActive Directory内で識別して選択します。選択範囲に対してフィルタリングオプションを使用することを検討してください。
- 4. Complete Setupをクリックします。



AD同期。

5. 同期を即時に開始するには、「今すぐ同期」をクリックします。これにより、Active Directory内の指定されたグループからDuo Cloudにユーザアカウントがエクスポートされ、Duo Security環境内でユーザアカウントを管理できるようになります。

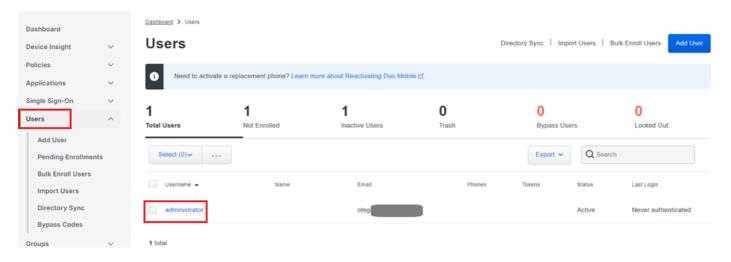


同期の開始

Cisco DUO Cloudにユーザを登録します。

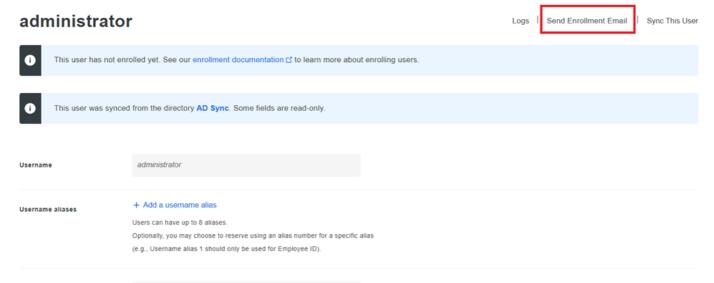
ユーザ登録により、コードアクセス、DUOプッシュ、SMSコード、トークンなど、さまざまな方法で本人確認が可能になります。

- 1. Cisco CloudダッシュボードのUsersセクションに移動します。
- 2. 登録するユーザーのアカウントを見つけて選択します。



ユーザー・アカウント・リスト。

3. 「登録メールの送信」ボタンをクリックして、登録プロセスを開始します。



電子メールによる登録。

4. 電子メールの受信トレイを確認し、登録の招待を開いて認証プロセスを完了します。

登録プロセスの詳細については、次のリソースを参照してください。

- ユニバーサル登録ガイド: https://guide.duo.com/universal-enrollment
- 従来型登録ガイド: https://guide.duo.com/traditional-enrollment

設定検証手順。

設定が正確で正常に動作していることを確認するには、次の手順を検証します。

1. Webブラウザを起動し、Firepower Threat Defense(FTD)デバイスのIPアドレスを入力して VPNインターフェイスにアクセスします。



VPNログオン。

2. プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。



注:クレデンシャルはActive Directoryアカウントの一部です。

3. DUOプッシュ通知を受け取ったら、DUO Mobileソフトウェアを使用して承認し、検証プロセスを進めます。



(1) Login request waiting. Respond



Are you logging in to Cisco ISE RADIUS?



- Unknown
- 3:13 PM CST
 - administrator

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。